

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア
ラインナップ発表のお知らせ

東京に世界のショートフィルムが集結！無料で楽しめる！

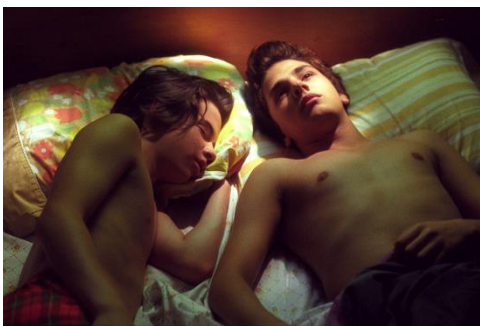
今年のカヌ国際映画祭審査員に選出された美しき天才！若き日のグザヴィエ・ドラン出演作品、
『スター・ウォーズ エピソード7/フォースの覚醒』ヒロインのデージー・リドリー主演作、
アカデミー主演男優賞のエディ・レッドメインほか英国人俳優44人が出演した作品などを上映

俳優の別所哲也が代表をつとめる米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015 (SSFF & ASIA) の上映ラインナップをお知らせいたします。17回目の開催となる今年の上映期間は、「ショートフィルムの日」(日本記念日協会認定)の6月4日(木)から6月14日(日)まで。一部の有料イベントを除き、**上映は無料**です。昨年度は16,716人の方にご来場いただきました。フェスティバルアンバサダーには昨年に引き続き映画コメンテーターのLiLiCoさんが決定しており、映画祭を盛り上げます。

注目の上映作品は、2014年のカヌ国際映画祭コンペティション部門で、ジャン＝リュック・ゴダール監督『さらば、愛の言葉よ』と共に長編映画『Mommy マミー』が審査員特別賞を受賞するなど、監督として手腕を発揮するグザヴィエ・ドランが15歳のときに出演した『鏡』。また、12月公開予定の『スター・ウォーズ エピソード7/フォースの覚醒』のヒロイン、デージー・リドリー主演の『ブルー・シーズン』、アカデミー主演男優賞を受賞のエディ・レッドメインほか英国人俳優44人が出演した『ハリウッド・ポートフォリオ』、スタンリー・キューブリックが賞賛し、ジョージ・ルーカスの『スターウォーズ』にも影響を与えたカナダ人の映像作家アーサー・リップセットの『21-87』など。また、本映画祭では初となる親子で楽しめるキッズ向けの「チルドレンプログラム」など、新旧含め世界中のショートフィルムから多様性を感じながら楽しんでいただけるラインナップです。

今年も世界100を超える国と地域から約5000本の作品応募があり、厳選された約200作品を上映します。コンペティションには、劇団ひとり、千原ジュニア、バカリズム、森ハヤシ、それぞれの監督作品もノミネートされています。

報道関係者のみなさまにおかれましては、ぜひ本件告知にご協力を頂きますと幸いです。報道関係者様向けのオープニングイベントは6月4日(木)。一部を除く、各部門の優秀賞・グランプリ作品は6月15日(月)に行われる授賞式で発表となります。



グザヴィエ・ドラン主演
『鏡』(Miroirs d'été)



デージー・リドリー主演作品
『ブルー・シーズン』(Blue Season)



エディ・レッドメインほか、
英国を代表する総勢44名の俳優たちが集結！
『ハリウッド・ポートフォリオ』(Hollywood Portfolio)

© Jason Bell

SSFF & ASIA 2015オフィシャルサイト <http://www.shortshorts.org/>

【本発表に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局(ユース・プランニング センター内)
担当: 白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958
e-mail : ssffasia2015@yppcr.com

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当: 高橋(090-3049-1284) 加賀矢間
TEL: 03-5474-8201 / FAX: 03-5474-8202 e-mail : press@shortshorts.org

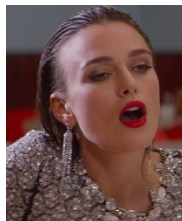
【イギリス特集】

アカデミー賞主演男優賞を受賞のエディ・レッドメインほか、英国を代表する総勢44名の俳優たちが集結！

『ハリウッド・ポートフォリオ』(Hollywood Portfolio)

監督: Jason Bell / イギリス / 6:57 / ドラマ / 2015

イギリスがハリウッドに宣戦布告?! 第二次世界大戦風の映像フッテージとナレーションで描かれた本作品は、雑誌ヴァニティ・フェアが「Hollywood Portfolio」特集のために特別に制作したショートフィルム。



エディ・レッドメイン

ベネディクト・カンバーバッチ

オーランド・ブルーム

キーラ・ナイトレイ

ケネス・ブラナー

ジュディ・デンチ

【セレブリティショート・マエストロショート】

※インターナショナル・アジアジャパン部門などで特別上映

第一線で活躍する俳優・女優が出演していたり、著名な監督がメガホンをとった、ここでしか観られないショートフィルムです。



『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』

ヒロインに抜擢された美少女ダイジー・リドリー主演作品！

『ブルー・シーズン』(Blue Season)

監督: Lee Jones / イギリス / 5:00 / SF / 2013

恐怖、孤独、迷走...誰を信じたらいいの？



キルスティン・ダンスト主演作(『マリー・アントワネット』)

『セレブとパチリ!』(Aspirational)

監督: Matthew Frost / アメリカ / 2:37 / フィクション / 2014

女優のキルスティン・ダンストは車に乗った二人の女性に声をかけられるが...

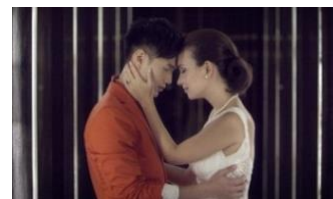


リチャード・マッデン出演(ディズニー『シンデレラ』王子役)

『はみ出し者』(Strays)

監督: Robert McKillop / イギリス / 25:12 / ドラマ / 2011

ニックとエリオットの兄弟は、他愛もない物を盗んでは逃げるを繰り返す、ムチャクチャな生活をおくっている。エリオットは、狂気的な行動がエスカレートするニックを何とか押さえこもうとするが...



名曲「君は薔薇より美しい」のカバーで日本デビューを果たした

香港のシンガーソングライター、ジョナサン・ウォンの出演作品

『千色』(Fighting For)

監督: THE LARS BROTHERS / 香港 / 19:41 / SFミュージカル / 2014

慣習を断ち切り、自分たちの信じるもののために立ち上がろうとする物語。



ジョージ・ルーカスの『スター・ウォーズ』に大きな影響を与えた

アーサー・リップセット監督作品

『21-87』

監督: Arthur Lipsett / カナダ / 10:00 / ドキュメンタリー / 1964

機械に支配された男への皮肉めいたコメンタリー。

© National Film Board of Canada. All rights reserved



『私の頭の中の消しゴム』で人気の韓国人俳優、チョン・ウソン監督作品

『殺し屋』(The Killer Behind, the old Man)

監督: チョン・ウソン / 韓国 / 24:16 / ドラマ / 2014

フィットネスクラブで働くジャンホは、日々汗を流す人たちを見ているが、本当の姿は、プロフェッショナルの殺し屋。そんなある日、意外な殺しの依頼が入る。



映画『マラソン』が、韓国で劇場動員数520万人を記録したチョン・ユン Chol監督作品

『バイク・レディー』(BIKE LADY)

監督: Yoon Chul Chung / 韓国 / 19:16 / ドキュメンタリー / 2014

近年注目を集める障害者スポーツ競技、ハンドサイクルの韓国代表女性アスリートを描いたドキュメンタリー。

【アカデミー賞プログラム】

米国アカデミー賞公認映画祭が贈る、世界最高峰の作品が揃うアカデミー賞プログラム。
第87回(2015年)米国アカデミー賞受賞作品を含む、ショートフィルムの醍醐味が味わえるラインナップです。



第87回(2015)米国アカデミー賞短編実写部門受賞作品。

監督のMat Kirkbyは、アデルなどのミュージック・ビデオを手がける。

『一本の電話』(The Phone Call)

監督: Mat Kirkby / イギリス / 20:00 / ドラマ / 2013

シャイなヘザーはヘルプラインで働いている。ある日受けたミステリアスな男性からの電話は、彼女の人生をも変えてしまう。

【チルドレンプログラム supported by クレルモンフェラン国際短編映画祭】

SSFF & ASIAとしては初となるキッズ向けのプログラム。フランスでは幼稚園でショートフィルムを鑑賞するという教育が取り入れられています。フランスで37年の歴史を持つクレルモンフェラン国際短編映画祭の協力のもと、お子さまも楽しめるアニメーションやセリフがない作品を中心にしたラインナップです。



『僕のかわいいクロコ』(My Little Croco)

監督: Etienne Bagot-Caspar, Yohan Cohen, Francois Mancone, Maickel Pasta, Milian Topsy フランス / 6:30 / アニメーション / 2013

ミスタークロコの生活は「赤ちゃん」がやって来たことで一転。そんなクロコを周りは笑うが…。

【フランス映画祭～短編作品集】

昨年度に引き続き、フランス映画祭(6月26日～29日開催)の「短編作品集」を上映。
次世代を担う若手フランス人監督の新作が目白押し。



『エルザとオオカミ』(GUEULE DU LOUP)

監督: Alice Vial / 24:00 / ドラマ / 2014

エルザは岩の斜面に面している人里離れた家に母のジャンヌと共に暮らしている。ジャンヌは隣のバーで働いており家を不在にしがちだ。幼いエルザは寂しさを紛らわせるため、オオカミのパペットをいつも手にはめているが、些細なことでそのパペットが破れてしまう…。テレビで近郊の自然公園から数頭のオオカミが逃げ出したと知ったエルザは、ある夜、彼らと一緒に旅立つと母親に告げる。

【ケベック特集 supported by サグネ国際短編映画祭】

カンヌ国際映画祭で審査員賞を受賞し、世界の注目を集める監督であり俳優のグザヴィエ・ドランの出身地であり、独自の映画文化を育むカナダのフランス文化圏、ケベックを特集。他では見られないケベックのショートフィルムの魅力をお楽しみください。



若き日のグザヴィエ・ドラン出演作品

『鏡』(Miroirs d'été)

監督: Etienne Desrosiers / カナダ、ケベック / 14:00 / ドラマ / 2006

思春期のジュリアンは、家族とコテージで休暇を過ごしているが、親も兄弟も湖畔の風景も、自分を取り囲む全てがしっくりこない。



ナレーション:グザヴィエ・ドラン

『アーサー・リップセットの日記』(Les journaux de Lipsett)

監督: Theodore Ushev / カナダ、ケベック / 14:00 / アニメーション / 2010

本作は、49歳で亡くなったカナダ・ケベックを代表する映画監督、アーサー・リップセットの精神的な側面を、日記形式で描いたアニメーション作品。

【戦争と生きるカプログラム supported by 赤十字】

第2次世界大戦の終結から今年で70年。世界大戦のような大規模な戦争はなくなっても、戦闘は今も世界のあちこちで絶え間なく続いています。紛争だけでなく、テロや都市型犯罪でも多くの尊い命が奪われ、日本人にとっても決して他人事ではなくなってきました。人はなぜ戦うのか。いのちを賭して目指す先に、一体何があるのか?戦後70年を節目に、あなたの身近にいる大切な人と一緒に、「平和に生きること」の意味について、考えてみませんか?



『鶏』(The Chicken)

監督: Una Gunjak / ドイツ、クロアチア / 14:57 / ドラマ / 2014

6歳の誕生日をむかえたセルマは、プレゼントに鶏を貰うが、その鶏は食用に贈られたものだった。それを知ったセルマは、鶏を逃がそうとするのだが…。

【短編オムニバス『家族ごっこ』舞台挨拶&上映会】

不思議な家族をテーマにした、シュールなオムニバス映画が誕生！ある日、突然集められ“鈴木家”を演じさせられる4人の男女の謎を描いた「鈴木ごっこ」をはじめ、どこかズレた5組の家族。出演は斎藤工、柄本時生、でんでん、鶴田真由をはじめ、新木優子、小林豊ら若手も参加。監督は内田英治(『グレートフルデッド』)と小説家・木下半太(「サンブンノイチ」)。エンディングテーマは、サブカル系アイドルグループ“ゆるめるモ！”

ゲスト:斎藤工 ほか

日時:6月4日(木) 18:45~21:00 会場:表参道ヒルズ スペース オー
料金:1,500円(税込)



『家族ごっこ』

【沖方サミット×ブックショート】

ブックショートは二次創作をテーマに短編小説をWEBで公募し、大賞作品をショートフィルム化やラジオ番組化するプロジェクトです。人気作家 沖方丁氏を中心に、出版社やビデオメーカーのスタッフが集結した組織「沖方サミット」の新企画「沖方塾」にブックショートも参加します！「マルドゥック・スクランブル」、「天地明察」、「もらい泣き」の二次創作が解禁される「沖方塾」。その気になる詳細をイベントにて発表。また、沖方丁氏と本映画祭代表 別所哲也のスペシャル対談も実施。共鳴する熱い想いを語ります。

ゲスト:沖方丁(作家)

日時:6月6日(土) 17:50~19:40 会場:表参道ヒルズ スペース オー
料金:2,000円(税込)



BOOK SHORTS



沖方丁

【ハリウッドVFXセミナー】

クリストファー・ノーラン監督作品『ダークナイト』や『インセプション』を手がけ、『インターステラー』で2015年(第87回)米国アカデミー視覚効果賞を受賞したイアン・ハンター氏を招き、伝統のミニチュア/ストップモーションSFX技術や最新のVFXなど、映像マジックの裏側に迫ります！

ゲスト:イアン・ハンター

『インターステラー』ではミニチュア スーパーバイザーで宇宙船等の制作指揮を担当。クリストファー・ノーラン作品を多数手掛ける人物です。

日時:6月7日(日) 15:40~17:30 会場:表参道ヒルズ スペース オー
料金:1,500円(税込)



©John Ales
イアン・ハンター

【SuG武瑠 製作ショートフィルム上映イベント】

Music Video監督・小説家・俳優・モデル・ファッションブランドプロデューサーなど、多角的360°の総合エンタテインメントを常に発信し続ける、バンド“SuG”のボーカル武瑠。音楽業界を超え、サブカル・ファッション業界等からも熱い注目を集める彼が、自ら執筆した脚本をもとに創り上げたショートフィルム『WE CRY OUT HELLYEAH』の上映トークイベントです。

ゲスト:武瑠(SuG)

日時:6月11日(木) 20:00~21:50
会場:ラフォーレミュージアム原宿
料金:2,000円(税込)



『WE CRY OUT HELLYEAH』

【クリエイターズセミナー】

人気YouTuber ジェットダイスケ氏と鎌田和樹氏による、映像クリエイター必見のセミナー！YouTubeプラットフォームで多彩な動画コンテンツを生み出す、YouTuberたち。動画配信の現状、そして未来にむけて映像クリエイターがどうネットを活用、ビジネスの場として広げていけるのかについて講義を頂きます。

講師:

ジェットダイスケ (UUUM株式会社 顧問)

主にデジモノ紹介ビデオブロガーとして活動、アルファブロガーアワード2009受賞。国内外でテレビ・雑誌等の掲載多数。ビデオアート系の映像作家として受賞歴・海外上映なども有。

鎌田 和樹氏(UUUM株式会社 代表取締役)

19歳で上場企業へ入社。テレコムサービス株式会社にてソフトバンクショップを単月100店舗出店。2011年からはイー・モバイルル一次店の代表取締役を務める。孫泰蔵氏との出会いから衝撃をうけベンチャーの道へ。その後、HIKAKINとの出会いをうけて30歳を手前に独立。



ジェットダイスケ

鎌田 和樹

日時:6月5日(金) 20:00~21:50 共催:東京都 会場:表参道ヒルズ スペース オー
料金:無料

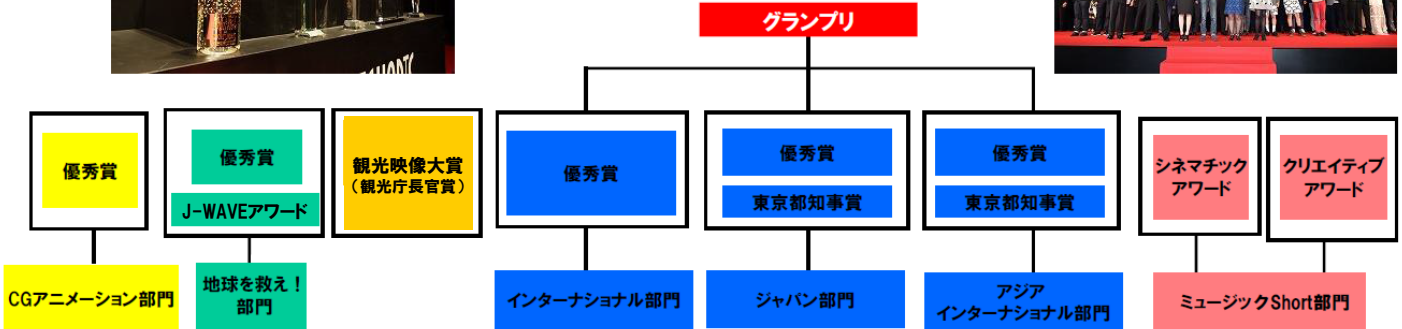
各部門の紹介

本映画祭は、グランプリ作品が次年度の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となる「オフィシャルコンペティション」をはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、6つの部門とその他の特別プログラムで構成されています。



Short Shorts Film Festival & Asia 2015 AWARDS

★米国アカデミー賞 短編部門ノミネート選考対象



■各部門とアワードついて

オフィシャルコンペティション(米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象部門)

- ・**インターナショナル部門** 応募数: 3436作品(国数:75カ国) 上映数:45作品(国数:26カ国)
- ・**アジア インターナショナル部門** 応募数: 760作品(国数:20カ国) 上映数:18作品(国数:10カ国)
- ・**ジャパン部門** 応募数: 363作品 上映数:22作品

世界中から応募されたショートフィルムの中から、メッセージ性、エンターテインメント性の優れた選りすぐりの約100作品を上映。部門ごとに1作品を優秀賞として選定します。各部門で優秀賞を受賞した3作品の中から選出されるグランプリ作品は、第88回(2016年)の米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象作品となります。

優秀賞賞金:60万円 ※アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の優秀賞には東京都知事賞が贈られます。

- ・**CGアニメーション部門** 応募数:217作品(29カ国) 上映:20作品(9カ国)

世界各国から集まったハイクオリティなCGショートフィルムを上映します。

優秀賞賞金:60万円

- ・**地球を救え!部門** 応募数:144作品(35カ国) 上映数:11作品(7カ国)

地球環境に関する様々なテーマの作品を上映します。

優秀賞(環境大臣賞)賞金:50万円 J-WAVEアワード賞金:50万(J-me Cinema Circle審査員によって決定する賞)

- ・**ミュージックShort部門**

ミュージックShort部門とはショートフィルムの視点でセレクトした公式ミュージックビデオと、音楽レーベル各社から正式にエントリーされた楽曲をもとにクリエイターから募集したオリジナルショートフィルムを上映する部門。

- ・**第四回観光映像大賞(観光庁長官賞)**

各都道府県で制作されている観光プロモーション映像・ビデオで、“観光振興”という観点で創造性、振興性、話題性を含んだ作品に贈られる賞。今年は全国から562作品が集まりました。エントリー作品は、旅が始まるきっかけサイト「旅もじゃ」にてご覧いただけます。大賞作品は映画祭内のイベントにて発表します。



※その他の映画祭内のラインナップ、イベント、ゲスト来場情報は順次ご案内していきます。

©Pacific Voice / Designed by RaNa

Antennaで世界のショートフィルムが鑑賞できる

キュレーションマガジンAntenna[アンテナ]にてショートフィルムの全編配信が4月23日(木)から開始。

初回は5夜連続で5作品を配信、その後も週1本を定期配信します。なお、すべての作品はスマートフォン・タブレット・PC全デバイスからの鑑賞が可能です。SSFF & ASIAには足を運ばない方もショートフィルムの総合ブランド『ShortShorts』が厳選した作品をスキマ時間にお気軽にお楽しみ頂けます。

5夜連続での初回配信を飾るのは、映画『007』の「M」として有名な名女優ジュディ・デンチが出演する『フレンド・リクエスト』や、木下優樹菜が初主演を務める『ゆっきーな』、イタリアの不思議でハッピーな話を描いた『ハッピーマーケット』など、どれも心が温くなる素敵な作品ばかりです。



■各会場における開催期間

<東京会場>

表参道ヒルズ スペース オー	6月4日(木) オープニングセレモニー
	6月5日(金)～6月7日(日)
シダックス・カルチャーホール	6月5日(金)～6月7日(日)、6月11日(木)～6月14日(日)
アンダーズ 東京 アンダーズ スタジオ	6月8日(月)～6月12日(金)
ラフォーレミュージアム原宿	6月11日(木)～6月14日(日)
iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ	6月12日(金)～6月14日(日)
渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA	6月15日(月) アワードセレモニー(授賞式)

<横浜会場>

ブリリア ショートショート シアター 6月5日(金)～6月14日(日) (横浜開催)

※オープニングセレモニー、アワードセレモニーは一般の方は参加できません。

		表参道ヒルズ スペース オー	シダックス・カル チャーホール	アンダーズ 東京 Andaz Studio	ラフォーレ ミュージアム原宿	iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ	ブリリア ショートショート シアター	渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA
6月4日	木	★ オープニング セレモニー						
6月5日	金	●	●				●	
6月6日	土	●	●				●	
6月7日	日	●	●				●	
6月8日	月			●			●	
6月9日	火			●			●	
6月10日	水			●			●	
6月11日	木		●	●	●		●	
6月12日	金		●	●	●	●	●	
6月13日	土		●		●	●	●	
6月14日	日		●		●	●	●	
6月15日	月							★ アワード セレモニー (授賞式)

■一部の有料イベントを除き、東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。

上映プログラム、イベント(有料・無料)事前予約開始 4月27日(月) 13:00～

※事前予約はオフィシャルサイトから登録が可能です。

※上映プログラム・イベントは決定次第、順次オフィシャルサイトにアップします。

■東京会場限定 スペシャルパスポート

4,000 円(映画祭オリジナルグッズ付)

下記東京3会場の無料上映プログラムが事前予約・回数制限なくご覧いただけます。

(表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿、iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ)

チケット販売はオンラインにて受け付けます。詳細は映画祭オフィシャルサイトをご確認ください。

※キャンセルによる払い戻しの手数料はお客様負担になりますので、予めご了承ください。

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジアについて

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。